

第86回

NSK VIETNAM



●事業内容: 各種軸受の輸入販売

●住所: Techno Center, Room 204-205, Thang Long IP, Dong An Dist, Ha Noi City, Vietnam

●TEL: (+84) 4-3955-0159

●FAX: (+84) 4-3955-0158

●URL: <http://www.nsk.com/jp/>

NSK VIETNAMは、主力の総合軸受事業において日本トップシェアを誇る日本精工株式会社(NSK)の100%子会社として2006年に、ハノイ市のタンロン工業団地内に設立されました。NSK VIETNAMでは、主に二輪車用のベアリングの輸入販売事業及び、各種製造設備で使用されている各種ベアリングのアフターマーケット事業(補修需要ビジネス)を中心に事業展開を行っています。今回は、そんなNSK VIETNAMの田邊社長にお話を伺いました。

●進出の経緯を教えてください

NSK VIETNAMの親会社である日本精工株式会社(NSK)は、日本で初めて国産軸受の製造販売を行った会社で、2016年に創立100周年を迎えました。1960年代初頭から海外展開を積極的に進めており、北米、ヨーロッパ、アジアなど現在では海外30か国に210ヶ所の拠点があり、その内製造拠点としては、64工場があります。

NSK VIETNAMは、ベトナム国内の二輪車用軸受及び、産業機械用軸受の需要増加に対応する為に、2006年に、ハノイ市のタンロン工業団地内に設立されました。ベトナム北部は大手二輪メーカーの製造拠点があり、更に代理店販売の展開にも適していることから、北部での設立となりました。

●事業内容を教えてください。

本社であるNSKでは、軸受をはじめ、直動製品、自動車部品、電装関係部品、エアロスぺース部品など様々な製品を製造しています。軸受とはいわゆるベアリングの事ですが、自動車、二輪車、飛行機、産業機械、家電製品、農業機械、医療機械など駆動する製品では、必ず使われているものです。一般の人の目に触れることは少ないですが、実は、身近な生活から製造工場まで、あらゆる場面で使用されている製品です。NSK VIETNAMでは、中でも主に二輪車用と産業機械用の軸受を取り扱っています。売上比率としましては、二輪車用の軸受が約

50%を占めており、それ以外に産業機械軸受のアフターマーケット事業(補修需要ビジネス)が約35%、機械メーカーへの各種軸受製品の直接販売が約15%を占めています。

アフターマーケット事業(補修需要ビジネス)は、ベトナムの北部、中部、南部など11社の代理店を通じて、ベトナム全土の製鉄所、セメント工場、鉱山開発など様々な産業分野の地場企業へ販売を行っています。

NSK VIETNAMは、軸受の製造を行っておらず、主に日本とインドネシアのNSKグループ工場で製造された軸受を輸入して販売しています。日本から輸入しているのは、主に産業機械用の大型軸受で、インドネシアからは主に二輪車用の軸受を輸入しています。

●ベトナムの自動車産業についてどのように見えていますか?

ベトナムの自動車産業の育成は、期待するほど進んでいないのが現状かと思われます。

ベトナム国内で製造する場合、主要な部品を殆ど海外から輸入する必要がありますので、完成車を輸入するよりも20%程度高くなると聞いています。このような状況下では、2018年のAECによるASEAN域内の輸入関税が撤廃されると、ベトナム国内での製造ではなく、タイなどの周辺国からの輸入へシフトしていく可能性も高いと思っています。

NSK VIETNAMとしては、ベトナム国内の自動車メーカーが、現地製造した自動車の価格を下げるために、エンジン、シートベルト、ワイパー等の様々な自動車部品メーカーをベトナムへ呼び寄せることになれば、ベトナム国内での軸受製品の需要が拡大する可能性が高まりますので、ベトナムでの自動車の現地製造へのシフトを期待していますが、輸入へシフトする可能性も十分あるとみえています。

●ベトナム人スタッフの評価を教えてください。

現在弊社の社員数は、ハノイ本社に日本人2名とベトナム人12名の14名が在籍し、ホーチミン事務所には、ベトナム人スタッフが7名在籍していますので、合計21名となります。ホーチミン事務所は、日本人が常駐していませんので、私が月に2回、多い時は3回出張するようにしています。ベトナム人スタッフの評価ですが、真面目な人が多く効率的に仕事をしている印象です。日本人の様に遅くまで残業するのではなく、定時になれば帰りますが、やるべき仕事はきちんとこなせているので、非常に効率が良い働き方だと感心していますし、私たち日本人も見習うべきものがあると感じています。

その他では、日本とベトナムの文化の違いを感じる場合があります。例えば社内イベントの際など、これまでの慣習や段取りを飛び越えて突然新しい提案をしてくるのがあ

り、驚かされることもありましたが、ベトナム人の文化的特徴なのだと理解するようになっています。

業務の報・連・相は、しっかりできている社員が多いと思います。社員からの報告は、細かなことまで頻繁にくるので有難いですが、逆に自分で考えて判断するという部分では、まだ少し弱い部分があると感じることはあります。

社内でのコミュニケーションは、英語が基本で特に問題はないのですが、社外の人とコミュニケーションを直接取ることが出来ないのも、もっとベトナムの事を知るためにも、ベトナム語を勉強して、一般のベトナムの人々がどのような考えを持っているのか直接聞いてみたいといつも思っています。

●社員の定着率は如何でしょうか？

NSK VIETNAMは、2016年に御蔭様で創立10周年を迎えまして、その際に勤続10年の社員に対して表彰を行ったのですが、7名が表彰対象でした。更に今年も複数名が勤続10年の表彰対象になっており、創業時からの社員が殆ど辞めていません。私が赴任してからの2年3か月の間でも辞めた社員は一人もいません。多くの社員が長く定着してくれているので、仕事の面では非常に助かっています。

社員の定着率が高い理由は、明確には把握していませんが、社員とのコミュニケーションは常にオープンにするように心がけています。ベトナムと日本では、文化や考え方に違う部分があるのは当然だと考えていますので、お互いが謙虚な気持ちでオープンに話し合っ、お互いの良い部分を取り入れられるようにしています。

社員同士もコミュニケーションが良く、仲が良いのも離職率が低い理由かもしれません。

社内イベントとしては、国際女性の日のパー

ティー、忘年会、社員旅行などを行っています。社員旅行は、フーコック、ニャチャン、ダナンなど家族同伴で飛行機を使って行くなど比較的豪華に行っています。行先は、社員が自主的に決めるようにしており、家族の帯同も認めていますので、社員一同楽しみにしてくれています。

更に、昨年創立10周年を迎えたことを契機に、ホーチミン事務所のスタッフとハノイのスタッフの交流を促進する為に、社員総出のボランティア活動を開始しました。第1回目は、北部のバックカン省の学校設立のサポートを行いました。ホーチミン事務所のスタッフもハノイまで呼んで全員参加で現地を訪問して、地元の学校と交流しましたが、参加者全員が非常に喜んで参加してくれたので、今後も継続していきたいと考えています。

●VIETNAM MANUFACTURING EXPO 2017について

昨年はホーチミンで開催されたMETALEXに参加したのですが、今年は、ハノイで4月26日から28日まで開催されたVietnam Manufacturing Expo 2017へ出展しました。

当社のブランドは、御蔭様で日系製造企業様に対しては高い知名度がございまして、ベトナム国内での知名度はまだまだ低いのが現状です。昨年の展示会でも様々なベトナム企業のお客様とお会いすることが出来、非常に効果的でしたので、今回もベトナム企業への認知度とブランドイメージ向上を目的に参加しました。

今回の展示会では、自動車メーカーや重工業系の大規模製造業から商社など様々な業種の約50社の企業様と商談を行うことが出来ました。前回のホーチミン市での展示会と比べると展示会の規模自体は、ホーチミン市の方が大きかったように思い

ますが、ハノイ市の場合は、自動車メーカーや鉄鋼関連など重工業系の大規模製造業の会社が多くみられたのが大きな違いだと感じています。

展示会では、既存のお客様から、今後ビジネスを構築出来そうな潜在的なお客様まで、様々な方々とお会いでき、NSK Vietnamをより良く知って頂く絶好の機会です。また、一方で、社内のハノイとホーチミンメンバーが共同で仕事を行える良い機会でもあります。来年度以降も、ハノイとホーチミンの展示会に社員全員参加で、NSKブランドイメージ向上のためにも、展示会に参加していきたいと思っています。

●今後の展開について教えてください。

ベトナムでNSKブランドイメージの向上を進めたいと考えています。その為に、ホーチミン市やハノイ市での展示会への出展や広報活動を行っており、また、ベトナム人の方により詳しく当社の製品を知って頂くためにベトナム語版のカタログの作成を進めています。

更に、現場で実際にメンテナンスを行っているベトナム人エンジニア向けにベアリングの講習会などを定期的に無料で開催したり、未来のエンジニアの卵であるベトナム人大学生向けにベアリングの講義を行うなど、ブランドイメージ向上に努めており、今後も継続的に開催していきたいと考えています。当社の軸受は、小さいものでは歯科用スピンドルに使用される0.6mmのものから、大きいものでは、製鉄所などで使用される6mのものまで幅広い種類を取り揃えていますので、様々な産業で幅広く販売の底上げを目指したいと考えています。

ありがとうございました。

